

# 報告事項

---

# 情報発信の取り組み

- 1 広報ふいちゅうへの掲載
- 2 市内各所へのポスター掲示
- 3 エリアネーミングについて

# 広報ふちゅうへの掲載

令和3年 12/1  
**天満屋2階活用の検討始まる**  
 No.1267  
 PUBLIC RELATIONS FUCHU

令和3年 1/1  
**府中市らしい「しあわせ実感！」を、ICT・SDGで目指す**  
 No.1268  
 PUBLIC RELATIONS FUCHU

新春対談 府中市らしい「しあわせ実感！」を、ICT・SDGで目指す

**賑わいの中心を「子育て」に**

定です。第1期で全庁庁舎を竣工し、2期整備もスタートしました。第1期で竣工した庁舎は、子育て支援の拠点として活用される予定です。子育て支援の拠点として活用される予定です。子育て支援の拠点として活用される予定です。

5G環境・大音量、大音量、多人数利用可能な多目的スペース。  
 1Fは子育て支援、2Fは子育て支援、3Fは子育て支援。  
 SDG+その先の世界がよりよくなるために、2030年までに世界の人々を豊かにしたいという思い。  
 IGASから始める一歩、子育て支援の拠点として活用される予定です。

～アイデアをカタチに モノづくりデザイン～

府中天満屋2階をリノベーションで賑わいづくり

府中天満屋2階の西側一部を市が無償で賃料を受け、賑わいの拠点となるリノベーションを行っています。

**多目的スペース**  
 さまざまな用途が可能な多目的スペース、会議室、サテライトオフィス、テレビ会議など

**子育てステーション**  
 妊婦・出産・子育てに関する総合フロントデスクを設置し、気軽に立ち寄れイベントや休日の施設により、働く保護者への支援を充実

**5G環境整備**  
 市が整備するエリアを網羅した5G環境の整備（デジタルコネクティングの活用、ワーキングエリアなどを検討）

**ワーキングスペース**  
 2期整備を検討

**飲食スペース**  
 飲食機能  
 レストランや軽食スペース、カフェ、軽食スペースなど

**5G環境**  
 5G環境を整備

**通路と照明**  
 通路はバリアフリーも考慮し、自然光を取り入れ、自然光の照明を採用

**くつろぎ空間**  
 センターに、シンボルツリーを設置し、屋内に広がる自然の中でくつろいでいる雰囲気を出し、天候の影響を受けないので、それぞれの世代の活動時間には、家に入らなくてもくつろいでいる場所となります。来客を見込んだチャレンジショップの開設も可能になります。

取組点での検討案であり、今後毎月の月報誌で、活用の進捗をお伝えしていきます。

問い合わせ先 府工務課 (☎43-7190)



# 広報ふちゅうへの掲載



**WEBで参加**

凸版印刷株式会社  
トップアドバイザーセンター 本部長  
**村田一朗** さん

株式会社天満屋ストア  
代表取締役社長  
**野口重明** さん

賑わいづくり検討委員会 委員長  
福山大学 教授  
**渡邊一成** さん

※開催日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、行っておりません。

※開催日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、行っておりません。

**特集 官民連携プロジェクトの目指す目的地**

府中市が主催する府中・天満屋活用プロジェクト。特設では、府中市と株式会社天満屋ストアが連携し、まちの活性化を図ること、どのように市民の皆さんとあわせてつながるのか、時代の流れも読み取りながらの座談会が盛り込まれます。

開い合わせ先 商工労働課 43-71910

府中 市役所 3階 301号室

小野 株式会社天満屋ストア 1階 101号室

座談会

府中市が主催する府中・天満屋活用プロジェクト。特設では、府中市と株式会社天満屋ストアが連携し、まちの活性化を図ること、どのように市民の皆さんとあわせてつながるのか、時代の流れも読み取りながらの座談会が盛り込まれます。

人が集まる施設 コミュニティゾーン + ICT = 自己実現の場

**特集 官民連携プロジェクトの目指す目的地**

**座談会**

府中市が主催する府中・天満屋活用プロジェクト。特設では、府中市と株式会社天満屋ストアが連携し、まちの活性化を図ること、どのように市民の皆さんとあわせてつながるのか、時代の流れも読み取りながらの座談会が盛り込まれます。

開い合わせ先 商工労働課 43-71910

府中 市役所 3階 301号室

小野 株式会社天満屋ストア 1階 101号室

**府中・天満屋活用プロジェクトの目指す目的地**

府中市が主催する府中・天満屋活用プロジェクト。特設では、府中市と株式会社天満屋ストアが連携し、まちの活性化を図ること、どのように市民の皆さんとあわせてつながるのか、時代の流れも読み取りながらの座談会が盛り込まれます。

**府中・天満屋活用プロジェクトの目指す目的地**

府中市が主催する府中・天満屋活用プロジェクト。特設では、府中市と株式会社天満屋ストアが連携し、まちの活性化を図ること、どのように市民の皆さんとあわせてつながるのか、時代の流れも読み取りながらの座談会が盛り込まれます。

# 市内各所へのポスター掲示(一部)



毎月ポスターを貼り替えて積極的な情報発信を行う。

# エリアネーミングについて

## 1 エリアネーミングの必要性

市民に愛着をもってもらうためのブランディング戦略をするうえでエリアネーミングは必要。

## 2 募集方法の検討

市民・企業の参加型を目指すうえで、公募型が望ましいところであるが、1期整備についてはすでに機能が決定し、2期整備の機能については現在検討中であることから、この段階での市民公募は困難。



「ふちゅうリノベプロジェクト」を開催し、市若手職員のまちづくりへの積極的な参加や自由闊達な発言機会の創出を醸成しており、天満屋プロジェクトを「自分ごと」として捉え、市の一体感と官民連携の先進的事例に育て上げるという強い思いを込め、市職員からアイデアを募集。

# エリアネーミングについて

## 3 応募件数

47件

## 4 選考方法

職員アンケートによる絞り込み 10件程度  
広報アドバイザーによる審査 5件程度  
部長級職員による投票  
市長・副市長選考

## 5 エリアネーミング選考結果

『i-core FUCHU』

(いこーれふちゅう)



# エリアネーミングについて

## 6 ネーミング由来

# 『i-core FUCHU』

(いこーれふちゅう)

- ★いこる：火が炭に燃え移って火勢が強くなる様子  
能動的な表現「いこれ」にアレンジ
- ★i：ICT、出会い、親子・人の愛、私
- ★core：核、物事を中心

### 【総評】

第5次総合計画においても使用した言葉であり、今後の府中駅周辺の賑わいの核施設である。  
市民が集いその熱量が賑わいの灯となって広がる